

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	中山中学校屋内運動場耐震補強事業			
予算科目	10 款 3 項 3 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとつづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課:	学校教育課	電話番号(内線):	733
記入者情報	所属長:	田中 浩	担当責任者:	武知 斉
実施期間	【開始年度】平成 24 年度 【開始年度】平成26年度			
事業の対象	中山中学校 屋内運動場			
事業の必要性	S45年築で既に40年余りを経過し老朽化が著しい、また、H22年に実施した耐震診断では、Is値0.15と耐震性の低い建物と判断されている。そこで、安全かつ機能的な施設の整備を図る。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	伊予市中山町出淵2番耕地180-1
運営方法	【運営方法】	直営	【運営費(予定)】	
事業の目的	安全で安心して過ごせる活動の場としての学校施設の整備を図る。			
事業の内容	屋内運動場:木造又はRC造一部木造、1,000㎡程度既存校舎改修:武道場設置			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	82,880	391,132	0	108,601
	人件費	4,881	4,772	0	4,772
	合計	0	395,904	0	113,373
人件費 内訳	人工数	0.60	0.60	0.00	0.60
	人件費単価	8,135	7,954	0	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,881	4,772	0	4,772
財源内訳	国庫支出金	0	95,439	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	294,400	0	107,700
	その他	25,000	0	0	0
	一般財源	62,761	6,065	0	5,673

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
設計業務、各種調査業務等	26,054	27,000					
解体工事、造成工事	35,000						
既存校舎改築工事	20,900						
建築工事		320,000					
監理業務		4,500					
年度別事業費	81,954	351,500					
財 源	国・県支出金		100,000				
	地方債	35,000	220,000				
	その他	25,000					
	一般財源	21,954	31,500				
国・県支出金等名称	学校施設環境改善交付金、公立学校施設整備費国庫負担金、過疎債						

成果指標				
成果指標	進捗率＝当該年度までの事業費÷全体の計画事業費×100			
指標設定の考え方	事業完了を100と設定し、全体計画に対する年度毎の支出計の割合（進捗率）を指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	建築主体工事における地下階段部分及び基礎の杭打ちができなかった箇所があったため、施工方法の検討に不測の日数を要したことから、年度内完成が見込めなくなった。しかし、現在は順調に進捗しており、9月中旬には完成予定である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地下階段部分及び基礎の杭打ちにおいて、施工方法の変更に不測の日数を要したことから、年度内完成ができなかったが、今年度2学期からの供用開始予定である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題